



P&Aいしかり世話人会

- 世話人代表 佐々木公子 (NPO法人 石狩市手をつなぐ育成会)
- 世話人 石尾いく子 (NPO法人 石狩市手をつなぐ育成会)
- 世話人 伊藤郁子 (石狩市障がい者支援センター保護者会)
- 世話人 安保隆之 (石狩市障がい者支援センター保護者会)
- 世話人 堤 伸子 (石狩市障がい者支援センター保護者会)
- 世話人 遠藤健治 ((福)はるにれの里 石狩市障がい者支援センター)
- 世話人 角田大輔 ((福)はるにれの里 石狩市障がい者支援センター)
- 世話人 金子浩治 ((福)はるにれの里 石狩市障がい者支援センター)



P&Aいしかり
2013年 1月7日
活動広報
第10号

どんな障がいがあっても、安心して地域で暮らしていけるようにしたい！
障がいのある人への良き理解者を増やし、広げたい！

P&Aいしかり事務局
石狩市障がい者支援センター (石狩市樽川519-2)
TEL 0133-73-8868
FAX 0133-73-8869 発行責任 佐々木公子



ααααα 2013年 ααααα
新しい年を皆様と共に創り上げていけることを謹んでお慶び申し上げます

2012年12月15日
P&Aいしかり正式結成！！

P&Aいしかり結成宣言

「どんな障がいがあっても、安心して地域で暮らしていけるようにしたい。障がいのある人のための権利擁護と地域でのセーフティーネットづくりの草の根運動を！」という願いを掲げ、平成22年10月27日に、石狩市手をつなぐ育成会、石狩市障がい者支援センター保護者会と石狩市障がい者支援センター3者により、PAI(P&Aいしかり)の設立準備会が発足されました。

この間、多くの皆さんのワンコインサポーター協力金をもとに、石狩市内のすべてのコンビニ、スーパー、病院、警察署・交番、消防署、中央バスへ、障がいを抱える人たちの行動の特徴等をイラストで分かりやすく紹介したパンフレットやPAIサポーター協力マークの配布・啓発活動を行うことができました。

住み慣れた地域で住民が、障がい児・者への良き理解者や良きサポーターとなってもらうための協力依頼の活動をさらに進めていくと同時に、私達の運動は単に地域の方々に障がい児・者についての理解を訴え、啓蒙していくということだけではなく、地域住民と共に考え「障がい」という枠を超えた地域づくり、セーフティーネットづくりへとつなげていきます。

設立準備会発足から早2年が経過しました。障がい者虐待防止法が本年10月から施行されました。わたしたちは、障がいのある方々の「権利擁護」(P・プロテクション)と「代弁・弁護」(A・アドボカシー)を目的としたPA運動の展開とセーフティーネットづくりをより多くの方々とより広く進めていくために、今日ここに「P&Aいしかり」を正式に結成することを宣言します。



P&Aいしかり正式結成の集い報告！！



去る12月15日、石狩市総合保健福祉センター「りんくる」において、「P&Aいしかり正式結成の集い」が開かれました。

基調講演にはP&A北海道代表の喜来業康様をお招きしました。平成22年7月に石狩市障がい者支援センター保護者会主催で、喜来業康様を招いて「障がいのある人たちが社会の中で安心して安全に暮らすために」と題して学習会がもたれたことを機に、「P&Aいしかり設立準備会」がスタートすることができました。この度のP&Aいしかりの正式結成にあたり、是非、再びお招きしようということで実現しました。基調講演では先ず、P&A北海道の10年の歩みが話されました。その中で、SOSコール活動と札幌白石区の「三丁目食堂事件」の問題や今後の活動の参考にとり、P&A北海道の活動で抱えていた課題などが話されました。

次に、P&A活動の基本としてネットワーク作りがあること。そして、そのための日常的な体制として事務局スタッフの課題や研修会ワークショップ、情報伝達などの取り組むべき課題など具体的に話されました。

次に、地域で安全・安心して暮らすための課題として、白石の姉妹孤立死問題をはじめとした広がる格差社会と後追いの行政の問題。一歩進んだものとして「障がい者虐待防止法」「北海道障がい者条例」これからの動きとして、「障がい者差別禁止法」「障がい者権利条約」の批准の課題。さらに親の役割や日本的親子関係について話されました。

- 最後にP&Aいしかりに期待することとして、
1. 中立であること。
(事業者、親の為ではなく当事者のため活動)
 2. 法人後見に取り組んでいただきたい。
 3. 地域に障がい者の人たちのことを啓蒙していく。
 4. 理解ある若い人達を育てて欲しい。地域の若い人達を巻き込んで欲しい。

これら4つのことをあげられました。これからのP&Aいしかりの活動に大変示唆のある貴重なお話をいただきました。

次にP&Aいしかり準備会から、正式な設立についての提案に移りました。

はじめに、P&Aいしかり設立準備会のこれまでの活動経過が資料に基づいて報告された後、結成に伴う会則提案されました。「ワンコインサポーターと賛助金だけで、会費制の必要は」「名称の文言の統一を」「ワンコインサポーター協力者へのフィードバック」などの質疑・応答の後、会則が承認されました。次に世話人・会計監査の選出が行われました。

最後にP&Aいしかり結成宣言の提案がされ、参加者全員で承認されました。(別掲)



「P&Aいしかり結成の集い」の詳細については、以下のホームページに掲載していますのでご覧ください。
URLは <http://p-a-ishikari.jimdo.com/>

世話人会メンバーの抱負！！



2004年北海道手をつなぐ育成会全道大会函館大会第7分科会「権利を守る」で石狩にもセーフティネットをと提言させていただき、8年。PAI準備会から2年…自分の中ではもう少し時間が必要なのではと思っていたところ、12月15日「結成の集い」に至り、PA北海道の喜来業康氏の講演がありました。これはひとえに応援して下さったワンコインサポーターの皆さん、支援センターの保護者会、石狩の育成会の皆さん、金子さん、遠藤さん、大勢の方々の協力のおかげでこの日をむかえられたのです。改めて心から感謝いたします。

今期、長くかかっていたという事で、たまたま世話人代表になりましたが、今後も身の丈にあった石狩らしい活動を皆さんと続けて行こうと決意しました。今までお世話になった皆様、ありがとうございました。これからも宜しくお願いたします。

PAI世話人代表 佐々木 公子

P&A石狩設立準備会からの継続で、世話人をさせていただくことになりました。

私は、10年前、娘がポロレへ通所し始めたと同時に石狩市民となりましたが、地域の中での繋がりは薄く、挨拶はするけれど・・・という近所づきあいをしてきただけでしたから、まず近所の人達にPAを知ってもらおう事をしたいと思っています。

身近に出来る事を皆で考えて動く大切さを実感した二年間でした。今後も多くの人達と繋がっていただける様に、ご協力よろしくお願い致します。

世話人 伊藤 郁子

「P&Aいしかり」が2年間の準備会を経て、いよいよスタートしました。

今、私たちが普通に暮らす地域、社会環境の中では障がいがある無しにかかわらずいろいろな問題が生じて来ており、心痛めております。

これからの「PAI」活動が、「草の根運動」として徐々に、そして確実に地域に根ざし、「支援の輪」が広がってゆくことを願い、皆で知恵と沢山の情報を出し合っていくお手伝いができればと思っています。

世話人 堤 伸子

この度の「P&Aいしかり」の結成より世話人として参加させていただくこととなりました。これまでの施設職員の立場からさらに踏み込んで、誰もが安心して暮らせる地域づくりに取り組んで行きたいと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。

世話人 角田 大輔

11月21日ポロレの壁にペンキで落書きがされました。「障害死ね」などという内容で、人の尊厳を否定するものでした。樽川町内会の会長木下さんが「これは犯罪だ。どんな教育をしているのか。」と、教育委員会の方に強く抗議していました。会長さんの一言が、心にしみました。PAいしかり結成を機会に、地域に支えられ、地域を支え、障害のある人もない人も安心して暮らせる地域になるよう頑張っていこうと思います。

世話人 遠藤 健治

権利擁護とセーフティネットの会を設立するとの話があり、育成会の役員という立場から参加しました。手探り状態で言われるままに動いていたように思います。二年間の間に三丁目食堂の事件、白石区の孤立死の問題がおき我が子にもあり得ないはなしではないのかもしれないと考えるようになりました。石狩市は市の福祉や施設の充実から障がい者・児が全国的にみて多い地域性のようです。PAIをより多くの人に知ってもらい世話人が引き継いで行きやすいよう務めようとおもいます。

アンケートに一言書いてくれた人がいますので書き添えます。「困った事、大変な事が起きた時、SOSを出すエネルギーがなくなってしまうこともあるのでは…と思います。PAIの活動基本である安心して地域で暮らしていけるようにしたい！地域でのセーフティネットをつくらう！はとても大切だと思います。」あと一件「一緒に頑張りましょう」以上です。

世話人 石尾いく子

今、民生委員児童委員、地区社協の役員等をさせてもらっています。自分がその立場で何ができるか思索しながら取り組んでいきたいと思っています。

よろしくお願いいたします。

世話人 安保 隆之

障がいを持っていても安心して地域で暮らせるよう12月15日P&Aいしかりという輪が誕生しました。この輪を大きくしていくことが、障がいを持った人も生きやすい町になると思います。一人でも多くの方と力を合わせ、大きな輪に育てていきたいと思っています。

会計監査 北 真由美

P&Aいしかり設立準備会を進めるにあたって「まずは具体的にできることから草の根運動的に行動しよう」ということを大切にしてきました。運動の資金は数多くのワンコインサポーターの皆様によって支えられてきました。コンビニパンフをはじめとしたサポーター協力依頼の活動ではお母さんパワーが大きな機動力でした。

準備会活動が2年経過し、P&Aいしかり正式結成の運びとなりました。これまでの一つ一つの活動を振り返ったときに、

1. 先ずは具体的な行動を
 2. とにかく継続していく
 3. 活動したことを広く伝える
- これら3つを大切に、多くの皆さんの参加と協力を得ながらPAI運動をさらに進めていきたいと思っています。

世話人 金子 浩治